

追悼と復興の花火大会「LIGHT UP NIPPON 2012」  
2012年8月11日（土）東北の沿岸で開催

LIGHT UP NIPPON×HIROCOLEDGE  
ライトアップニッポン×ヒロコレッジ

寄付付きオリジナル浴衣を発売

東日本大震災に対する追悼の想いを風化させないこと、そして被災地の復興に少しでも貢献したいという想いから、東北沿岸の被災地十数か所で同時開催される、追悼と復興の花火大会「LIGHT UP NIPPON 2012」(www.lightupnippon.jp)。その活動に共感したアーティスト・高橋理子（株式会社ヒロコレッジ）による、花火をイメージして製作した注染浴衣を「TAKAHASHI HIROKO BASE」にて発売します。

こちらの浴衣の売上げから、1反につき10,000円(反物販売価格は税込36,750円/仕立代別途15,750円)を「LIGHT UP NIPPON」に寄付するとともに、今年打ち上げられる花火の一部を高橋理子が監修。この寄付が高橋理子監修尺玉花火に変わります。



商品名 LIGHT UP NIPPON×HIROCOLEDGE YUKATA [ FIREWORKS ]

カラー展開 8種

サイズ 幅：約42cm 長さ：約12.5m

素材 綿100%

価格 税込 36,750円（反物のみ）

発売元 株式会社ヒロコレッジ

東京都台東区上野5-9-18 2k540 TAKAHASHI HIROKO BASE

TEL 03-6240-1327 FAX 03-6240-1328

<http://takahashihiroko.com/>

高橋理子の特徴的な円の構成による打ち上げ花火をイメージした柄を注染で染め上げました。花火の技術が最も高まったと言われた時代、これ以上のものはないということで名付けられたのが八重芯と呼ばれる芯が二重の芯物花火。その後、三重芯、四重芯の花火が誕生し、日本の煙火製造の技は、当時の予想を遥かに超えた進化を遂げました。しかしながら、今でもなお高い技術が必要とする八重芯花火の名にちなみ、カラーを8色展開としました。単色、もしくは2色で染められたシンプルな浴衣ですが、大勢あつまれば、まるでたくさんの花火が同時に打ち上げられたかのように華やかな雰囲気生まれることでしょう。

形に残るものものではないけれど、人の心を癒し気持ちを明るくさせる花火。その花火を楽しむ時間を多くの人と共有できるこの活動は、まだまだ傷跡の残る東北の地に思いを馳せ、誰もがあの日のことをいつでも気にかけている状況を継続させるきっかけになるはずです。復興にはまだまだ時間がかかると思います。忘れずにいることも、心の支援になると思うのです。

普段からもの作りを共にする国内の職人と、いつもと変わらず、自分の納得できるもの作りをする。それを着てくださる方がいて、東北の空に花火が上がる。

たくさんの人の手を介して生み出されたこの浴衣が、人と人を繋いでいくきっかけになればと願っています。

高橋 理子

■ 高橋理子 プロフィール

1977年生まれ。アーティスト。

東京藝術大学大学院博士課程修了。博士号（美術）取得。2006年、株式会社ヒロコレッジを設立。円と直線のみで表現される図柄が特徴。身近に存在する固定観念を覆し、思いを巡らせるきっかけ生み出すことを目的としたもの作りを通して、気づきを与える表現活動そのものがコンセプト的な一連の作品とも言える。着物に新たな視点で向き合うためのポートレート作品や、様々な産地や職人と共にもの作りを行なうプロジェクト「HIROCOLEDGE」など、ジャンルレスな幅広い表現を行なっている。

<http://takahashihiroko.com/>

<LIGHT UP NIPPON>

日程：2012年8月11日（土）19:00一斉打上げ（雨天決行・荒天順延）

開催予定地：岩手県 山田町 大槌町 釜石市 大船渡市/宮城県 気仙沼市 石巻市雄勝 多賀城市/  
福島県 相馬市 南相馬市 会津美里町 広野町 いわき市

主催：LIGHT UP NIPPON実行委員会

<http://lightupnippon.jp/>

プレス問合せ先

株式会社ハウ 〒107-0062 東京都港区南青山2-22-14 フォンテ青山401 Tel.03-5414-6405 Fax.03-5414-6406  
担当: 小池 美紀 miki@how-pr.co.jp / 相沢 美恵 mie@how-pr.co.jp